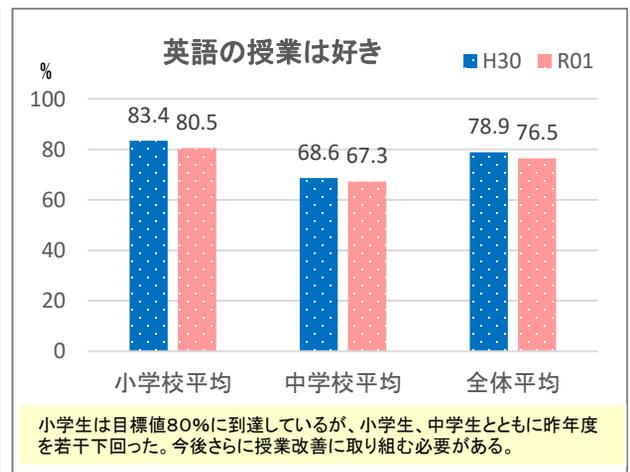
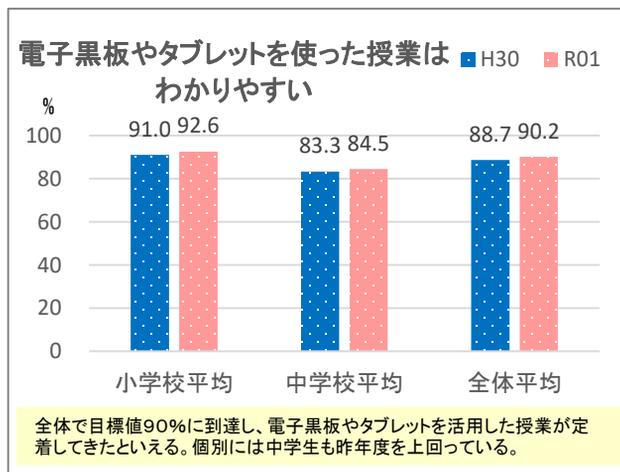
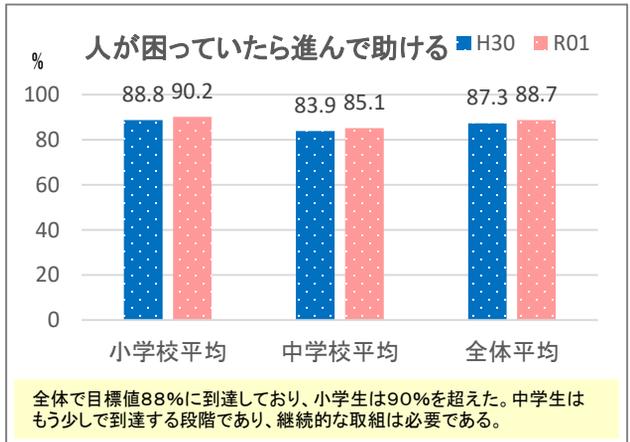
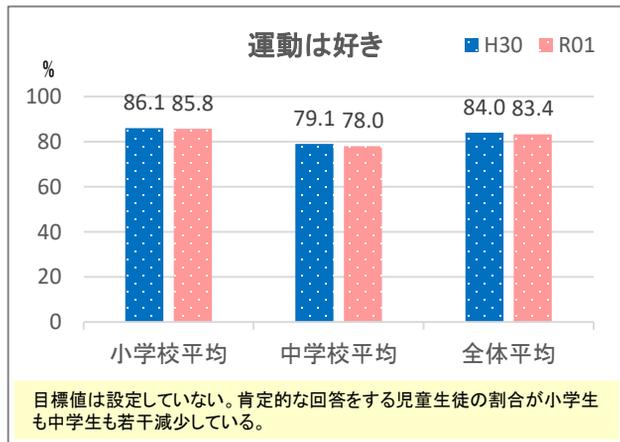
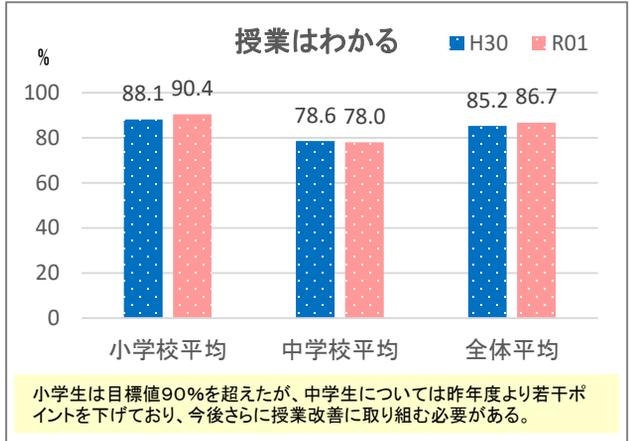
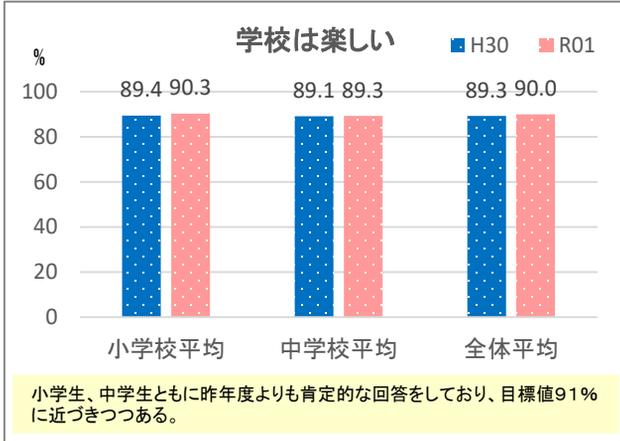


本市学校教育の「強み」となる取組の成果については、各事業実績とともに、子どもの意識の変容を見取することを大切にしています。そこで、毎年小中学校で実施する学校評価において、本市がめざす教育の内容に照らし合わせて共通項目を立て、全校の子どもを対象にアンケート調査を実施しています。平成30年度・令和元年度の肯定率の結果は、下のグラフのとおりです。



平成30年度・令和元年度の肯定率の結果を踏まえ、全項目において目標値に到達できるように、草津型アクティブ・ラーニングによる授業改善を一層進めるとともに、本プログラムで示した様々な取組を推進していきます。

ESD(持続可能な開発のための教育)

この「学校教育充実プログラム」では、「IV 草津の学校 教育の強み」において、ESD (Education for Sustainable Development) の取り組みや教育実践には『ESDマーク』を付けています。

17の目標からなる「持続可能な開発目標(SDGs)」(※)については、複雑化・多様化する社会において、『教育』が全てのSDGsの基礎であり、「全てのSDGsが『教育』に期待している」と捉え、子どもたちが様々な地球規模の課題を自らの問題として受けとめ、一人ひとりが自分にできることを模索し、実践していくことができる力を育むことをとおして、持続可能な社会を構築していくことを目指す教育の推進に積極的に取り組んでいきます。



※持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省HP引用)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和2年度 学校教育充実プログラム～草津の「強み」～

発行日 令和2年4月

発行 草津市教育委員会

編集 教育委員会事務局 学校政策推進課(市役所6階)

〒525-8588 滋賀県草津市三丁目13番30号

TEL 077-561-6981(直通)

FAX 077-561-2488

E-mail gako-seisaku@city.kusatsu.lg.jp

